

平成27年度需要開発推進運動 アクションプログラム



一般社団法人 全国LPガス協会

目 次

【1】「進化するLPガス」部門

- 活動1 「エネファーム情報交換会」の実施
- 活動2 各LPガス協会主催
「LPガス機器需要開発セミナー」の実施
- 活動3 各種「メーカー別ガス機器セミナー」の実施
- 活動4 「需要開発推進運動活動レポート」の作成
- 活動5 エネファーム補助金の早期執行の推進の実施
- 活動6 「住宅業界向けエネファームセミナー」への協力

【2】「究極のライフラインLPガス」部門

- 活動1 「公共施設にLPガス機器の常設常用を！」
(災害バルクの設置で災害にも強いLPガスの推進)
テキストの作成
- 活動2 「平成27年度災害対応型バルク補助金」ガイド
ブックの作成
- 活動3 需要開発推進運動活性化セミナーの実施
- 活動4 LPガス自動車展示会及び情報セミナーの実施
(スタンド委員会担当)
- 活動5 「2015 全国縦断GHPフォーラム」の後援

【3】「人を育むLPガス」部門

- 活動1 「火育マイスター育成講習会」の実施
- 活動2 「全国親子クッキングコンテスト」への参画

【4】その他

- 活動1 エネファームの周知チラシの斡旋
- 活動2 火育・食育活動ツールの斡旋
- 活動3 『10月10日LPガスの日・LPG車の日』
PRツールの斡旋

【1】進化するLPガス

〔活動 1〕（継続と新規）

活動名	「エネファーム情報交換会」の実施
対象	正会員(団体会員及び直接会員)
実施時期 及び開催地	5月12日(火)13:30～18:00 秋葉原ビジネスセンター(東京/秋葉原) 5月13日(水)10:00～12:00 東芝燃料電池システム(株) (横浜/磯子)
内容	●5月12日「エネファーム既築販売セミナー」 ①経済産業省燃料電池室による「エネファームの今後に関して(仮称)」 ②既築住宅への積極的な取り組みを実施している山陰酸素工業及び大阪ガス社員を講師に迎え、取り組み内容の実施事例を紹介する。 * セミナー終了後:懇親会実施。 ③セミナーの参加費: 5,000円 ●5月13日「東芝エネファームセミナー」(現地集合現地解散、交通費各自負担) ①東芝エネファーム工場見学 ②東芝エネファームの商品説明、質疑応答
26年実績	●直接会員に国の方向性ととも既築住宅へのエネファーム取り組み事例を紹介。全L協87社の直接会員に参加案内に対して、94名が参加。 ●演題①「補助金早期執行」 経済産業省燃料電池推進室 原課長補佐 ②「既設販売に向けて」 コージェネ財団 小財部長 ③「既設住宅への事例発表」 岸課長

[活動2] (継続と新規)

活動名	各LPガス協会主催「LPガス機器需要開発セミナー」の実施
対象	都道府県協会傘下のLPガス事業者及び、取引先の住宅関連事業者
実施時期	4月～
開催地	47都道府県(任意開催)
内容	●全L協は各県協会で実施する場合のセミナーの提案と講師派遣協力等を実施 ●研修メニュー ①エネファーム(必須) ②GHP(選択) ③エコジョーズ(選択) ④ハイブリッド給湯器(選択) ⑤災害バルク供給(選択) ⑥LPガス発電機(選択) ⑦LPガス移動電源車(選択) ⑧リース制度(選択:リースを活用した成功事例) ・地元の住宅産業等のサブユーザーへも積極的に参加をお願いする。 ・補助金(10万円/1協会) 昨年同様に全L協から需要開発推進運動の活性化のための
26年実績	●31県64会場で実施 参加者:4,418名(1会場平均約70名が参加) ●研修メニュー ①エネファーム(必須) ②GHP(選択) ③エコジョーズ(選択)

【1】進化するLPガス

〔活動3〕（継続と新規）

活動名	各種「メーカー別ガス機器セミナー」の実施
対象	都道府県協会傘下のLPガス事業者及び、取引先のサブ・ユーザー
実施時期	4月～
開催地	47都道府県（任意開催）（各メーカー等が指定する開催場所）
内容	●各県協会が主催するセミナーの提案。 ①リンナイ「Siセンサーコンロ研修」：所要時間3時間 食材費2千円／人 リンナイの各地域の研修施設で調理を体験 ②パロマ「エコジョーズ拡販研修、厨房研修」：所要時間2時間 定員20名 パロマの横浜、愛知、大阪の研修所で実施 ③関西ビジネスインフォメーション「エネファーム研修」：所要時間：半日 エネファーム販売の意義、意識改革、きっかけづくり等研修、 講師費用：18万円（旅費交通費実費別途） ④ダイキン「GHP研修」：所要時間：2～3時間 ダイキンの東京、大阪のショールームで実施 ●全L協が主催するセミナーの開催 ①リンナイ「ハイブリッド技術研修」：6月12日 AM9時～PM17時 リンナイ筑波研修所 テキスト代 5,000円 ②東芝「エネファーム技術研修会」：7月8日 AM9時～PM17時 東芝磯子工場内研修室 参加費用24,840円/人（10月にも開催予定。）

〔活動4〕（継続）

活動名	「需要開発推進運動活動レポート」の作成
対象	LPガス販売事業者
実施時期	7月に配布予定
内容	●中堅のLPガス販売事業者を対象として、今後のLPガス機器の販売拡大へのヒントとなる事例集を作成する。 ①各地での取組み、導入事例等を商品テーマごとに取りまとめる。 ②エンドユーザーの購買心理・動向を分析した内容を加味する。 （前年のレポートは、成功事例から売り手側の販売手法をまとめてLPガスの拡販のヒントへ繋がることを解説した。） ③各テーマごとに、より深く内容を掘り下げるため、エンドユーザーにご協力頂き、インタビュー形式で生の声を紹介する。 ●作成部数：35,000部
26年実績	●「需要開発推進運動」活動レポート35,000部を作成し、 ①各県の協会を通じて傘下事業者及び直接会員にレポートを配布 ②中小事業者向けのセミナーでの題材や参考資料として活用 ③行政及び関係団体への配付

【1】進化するLPガス

【活動5】（継続）

活動名	エネファーム補助金の早期執行の推進の実施
対象	都道府県協会の専務理事・事務局長、LPガス販売事業者（需要開発推進担当者）
実施時期	4月～
内容	●（一社）燃料電池普及促進協会（略称：FCA）主催の補助金セミナーに参画し、LPガス事業者に対してエネファームへの取組み及び補助金の利用推進の協力依頼を行う。 ●ガス体エネルギー業界全体の取組みの推進 FCA・エネファームパートナーズ・日本ガス協会と連携し補助金早期執行を推進する。 ●都道府県協会により各会場へLPガス事業者を多く動員し、補助金への理解とエネファーム販売への動機付けを行う。
26年実績	●20都府県の20会場でFCAが補助金説明会・セミナーを実施し、同会場にて全L協がエネファーム販売の推進依頼を行った。 ・募集説明会（14会場）：812名、前年（373名）対比の約2.2倍 ・FCAセミナー（6会場）：431名 ・参加者合計：1,243名（参加者の7割が各協会の動員したLPガス関係者）

【1】進化するLPガス

〔活動6〕（継続）

活動名	「住宅業界向けエネファームセミナー」への協力
対象	LPガス販売事業者が取引先の住宅関連事業者
実施時期	5月～（予定）
開催地	全国6か所で開催予定
内容	●エネファーム推進のための任意団体「エネファームパートナーズ」主催のセミナーに、住宅関連事業者（地元ハウスメーカー、工務店、リフォーム業者、設備工事業者等）を各県LP協会協力のもと、LPガス販売事業者が積極的に集客を図り、新築・リフォーム時のエネファーム導入の推進を図る。 ●同時に、[活動2]の都道府県協会主催の「需要開発セミナー」へ住宅関連事業者に積極的に参加してもらう。
26年実績	●全国6地域（福岡、横浜、名古屋、仙台、広島、大阪で実施。 参加者：約300名 ●LPガス販売事業者から住宅関連事業者への働き掛けを実施。

【2】究極のライフラインLPガス

[活動 1] (新規)

活動名	「公共施設にLPガス機器の常設常用を！」 (災害バルクの設置で災害にも強いLPガスの推進)のテキストの作成
対象	都道府県協会／直接会員／他業界(社会福祉業界等)
実施時期	需要開発推進運動の一環として配布予定(5月頃)
配布方法	都道府県主催「需要開発セミナー」で基調資料として使用(各協会へデータ配信)
内 容	●目次 1. 災害時の初期対応にLPガスは有効か 2. 災害時に災害バルクは有効か 3. 災害時にも役立つLPガス機器 4. 災害バルクの設置事例 5. 国レベルの防災対策 6. 県レベルの防災対策 7. 災害バルクメーカーの紹介 8. リースの一例の紹介

【2】究極のライフラインLPガス

〔活動2〕（補助金の内容が決まり次第作成予定）

活動名	「平成27年度災害対応型バルク補助金」ガイドブックの作成
対象	都道府県協会／直接会員／他業界（社会福祉業界等）
実施時期	補助金内容の確定時後に配布予定（5月頃）
配布方法	各協会へデータ配信
補助金内容	・補助金の規模：4.5億円 ・補助金の目的 ・補助金の概要 ・補助金の提案先例の紹介 ・補助金対象機器のパッケージ例の紹介 ・リースの利用

【2】究極のライフラインLPガス【3】人を育むLPガス

[活動3] (継続)

活動名	需要開発推進運動活性化セミナーの実施
対象	都道府県協会事務局、青年委員会委員、需要開発推進担当者
実施時期	7月17日(金)13:00～17:00
開催地	東京都内
内容	●「需要開発推進運動」の大きな3つのテーマのうち、『究極のライフラインLPガス』『人を育むLPガス』の分野で、具体的事例に基づいた講演内容とする。 ●その他 昨年同様に1協会1名の都道府県協会事務局員の交通費負担
26年実績	●昨年度セミナーの概要 9月19日(金)に東京ガーデンパレスにて開催し、98名が参加した。 講演内容 【1】人を育むLPガス ①(火育)「高知県協会の火育活動の取り組みについて」～炎が育む豊かな心～ 講師:山田 洋介 様 (一社)高知県LPガス協会 青年部会長 ②(食育)「いただきますのひみつ」～未来の大人たちへ伝えよう!感謝の気持ち～ 講師:山田 伸一 様 (一社)新潟県LPガス協会 主任 【2】究極のライフラインLPガス 「発電機搭載型災害バルク導入の事例及び経緯について」 講師:三宮 毅之 様 富士工器株式会社 バルクプロジェクト部 部長 【3】進化するLPガス 「さらなるエコジョーズ化に向けて」 講師:勝亦 公二 様 (一社)日本ガス石油機器工業会 ガス機器業務委員会委員

【2】究極のライフラインLPガス

[活動4] (新規)

活動名	LPガス自動車展示会及び情報セミナーの実施(スタンド委員会担当)
対象	都道府県協会事務局(主催)
実施時期	6月～11月
開催地	47都道府県(任意開催)
内容	●都道府県協会で実施するセミナーへ、カーメーカー・後改造事業者派遣協力等を実施 また、LPガス自動車の展示会を実施する。 ・全L協の役割として、県協会からの開催依頼を取りまとめ、派遣希望メーカー、後改造事業者への打診を行う。 ・県協会の役割として、会場の手配、LPガス事業者等への案内、メーカー等担当者との当日スケジュール調整、当日の運営を行う。
26年実績	7会場で車両展示会を、また2会場でセミナーを実施。

【2】究極のライフラインLPガス

〔活動5〕（新規）

活動名	「2015全国縦断GHPフォーラム」の後援
対象	LPガス販売事業者
実施時期	7月～8月（予定）
開催地	全国7地区（予定）
内容	●昨年度と同様にGHPコンソーシアム主催の「GHPフォーラム」の後援を行う。 ●会員へのセミナー開催の案内をするとともに、LPガス販売事業者に対して需要開発推進運動の一環として公共施設及び民間への積極的なGHP販売をバックアップする。
26年実績	●GHPコンソーシアム主催のフォーラムを後援。 - 各県協会を通じてフォーラムへの参加を依頼。 7会場507名参加。全体の約65%がLPガス販売事業者。

【3】人を育むLPガス

〔活動 1〕（継続）

活動名	「火育マイスター育成講習会」の実施
対象	主催者：各地域ブロック（都道府県協会） 青年委員会、LPガス販売事業者、都道府県協会事務局
実施時期	4月～3月
開催地	各地域ブロック（都道府県）（任意開催）
内容	●昨年度に引き続き大阪ガス（日本ガス協会）の協力を得る。 ●事務局・LPガス販売事業者を対象に、火育の意義と『火おこし』を中心とした、火育の地元指導者育成のための「火育マイスター育成講習会」を実施する。 ●各地からの要望を受け、各地域ブロックが主催者となり講習会を実施する。 ●費用：開催地別に講師旅費、会場運営等の費用が発生する。 注意：火育に使用した資材（教科書・火起こしセット等）は大阪ガスの知的財産に帰属。
26年実績	●大阪ガス本社にて開催 当初3回の開催予定であったが、会員からの要望を受け4回実施。 参加者：124名（平成25年度からの延べ参加人数：268名）

【3】人を育むLPガス

〔活動2〕（継続）

活動名	「全国親子クッキングコンテスト」への参画
対象	親（保護者）と子（小学1～6年生）の2名1組
実施時期	・応募受付：6月（予定）（応募締切は、地区ごとに設定） ・募集後、各地区で予選を行い、全国大会は平成28年1月頃を予定。
開催地	全国
内容	●食育活動の一環として親子で参加するクッキングコンテストを開催し、親子が一緒に調理することで、料理の楽しさや食の大切さなど食への関心を高め、家庭での食育を進めることを目的とする。 ・全L協は、ガスコラボとの連携と都道府県協会へのコンテストの周知活動等を行う。 ・県協会は、コンテストへの参画と各地区での運営の協力を行う。
26年実績	●参加組数： 平成24年度 32,618組 平成25年度 36,091組（LPガスユーザー：3,596組＝10%） 平成26年度 46,046組 ●「第8回ウィズガス全国親子クッキングコンテスト」を、大阪ガス「hu+gMUSEUM」にて1月25日（日）に開催。 *ファイナリスト15組のうち11組がLPガスユーザー、グランプリ賞1組を含め準グランプリ3組全てLPガスユーザーと輝かしい成果をあげた。

【4】その他

【活動 1】（継続）

活動名	エネファームの周知チラシの斡旋
対象	LPガス販売事業者（お客さま向けチラシ）
実施時期	5月～（予定）
内容	●昨年度コージェネ財団にて作成したチラシを2015年度版に改訂する。 ①エネファーム補助金チラシ ②W発電チラシ ③マンガ ・全L協では会員を通じ、LPガス販売事業者へ斡旋販売 ・チラシと併せてチラシを活用したトーク例を用意

エネファーム



ダブル発電



マンガ



【4】その他

〔活動2〕（継続）

活動名	火育・食育活動ツールの斡旋
対象	都道府県協会
実施時期	5月～
内容	●昨年度に引き続き火育・食育活動ツールを斡旋する。 ・ファイヤー探検記（火育） 小学生低学年を対象とした冊子 ・「いただきますのひみつ」（食育） 未就学児を対象とした紙芝居 ・紙芝居「火はたいせつなおともだち」（火育） 未就学児を対象とした紙芝居



ファイヤー探検記（火育）北海道協会作成



紙芝居

「いただきますのひみつ（食育）」



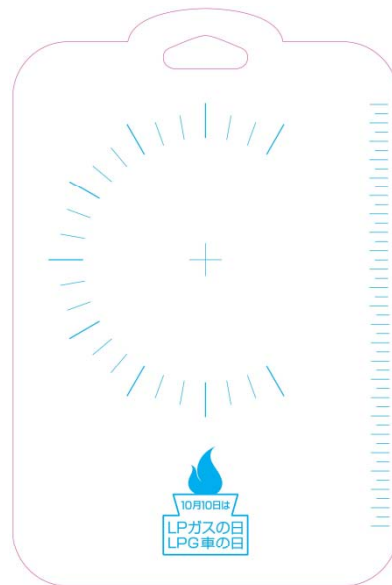
「火はたいせつなおともだち（火育）」

【4】その他

〔活動3〕（継続）

活動名	『10月10日LPガスの日・LPG車の日』 PRツールの斡旋
対象	LPガス販売事業者
実施時期	5月～
内容	●10月10日をLPガスの日・LPG車の日と定め、このPRグッズの作成し斡旋販売する。 ・全L協では会員を通じ、LPガス販売事業者へ斡旋販売

まな板/プロピレン



のぼり旗

